

■英国：ブラウン首相が COP15 の協議に危機感を表明

英国の放送会社は 2009 年 9 月 21 日、英国のブラウン首相が、2009 年 12 月にデンマークのコペンハーゲンで開催される予定の第 15 回気候変動枠組み条約締約国会議（COP15）における協議結果の見通しに、深刻な危機感を表明したと報じた。同首相は、「COP15 という機会を逃せば、気候変動によって壊滅的な打撃を受けている自然環境を、元に戻すためのチャンスは二度と訪れないだろう」と述べ、必要があれば同首相自らが COP15 に出席する用意があることを明らかにするなど、今後も強いリーダーシップを発揮していくことを明らかにした。締約国会議は通常、各国の首脳クラスではなく、環境大臣が出席して行われることから、ポスト議定書の合意形成を強力に後押しするための決断力や政治的影響力に乏しいことが以前より指摘されている。同首相の発言は、COP15 における協議の先行きが、会議開催 10 週間前という段階になっても不透明である状況に危機感を示すとともに、国際的な合意形成の行き詰まりを打開するには、各国首脳が政治的決断力を行使していくことが重要であることを、内外に示したものとして注目されている。